



エナジック  
**金城賢一**  
投手

選手取材

1990年生まれ、那覇市出身、真和志中学校卒業。沖縄尚学高校中退後、安仁屋ベースボールクラブを経て、2009年、エナジックに入団。サウスポーの本格派投手。第81回都市対抗野球大会に九州第一代表のJR九州の補強選手として選出された。平均 140キロ台半ばの速球が武器で、プロ野球のスカウトからも注目されている。177cm、75kg。



「基本、直球で押し込みたいんです。まっすぐを生かすには、もっと変化球の切れと早さが欲しい」。9月13日、西崎球場でのビッグ開発とのオープン戦に先発し、3回を投げたエナジックの金城賢一投手はそう話した。MAX144キロ、威力のある速球は実に効果的だが、変化球に対する課題は自分でも認識している。この日も、変化球にタイミングを合わされる場面が何度あった。



入社2年目の今年、金城投手は急成長を遂げて、チームのエースとして活躍。第81回都市対抗野球大会では補強選手として、JR九州から選出され、東京ドームのマウンドにも立った。その姿は、全国の舞台でつかんだ確かな自信に満ちているようだった。高校中退という大きな挫折を経験した。しかし、そうした中で得た芯の強さが、この飛躍

につながっているのかもしれない。ノンプロ選手の宿命だが、練習の後には会社での仕事が終わっている。現在の職場はコールセンターだ。「野球をやりながら仕事をするのは、ノンプロでは当然のことですから」ときっちりと割り切って仕事もこなす。ノンプロの野球は沖縄ではあまり浸透していないが、本土にいくとファンクラブがあるチー

ムもあるとか。「野球そのものを盛り上げようという動きが強いんです」。

目指すのはプロ野球だ。「自分を評価してもらえれば、どこにでも行きたい」と意欲的だ。この日も球場にはプロ野球のスカウトの姿もあった。ドラフト会議の席で「金城賢一」という名前が聞ける日も、そう遠くはないのかもしれない。



MAX144km  
左の本格派の目標はプロ入り

# 金城賢一

[エナジック・投手]

急成長を遂げて  
全国大会のマウンドに

文/野田 隆司 写真/根原 奉也

## TEAM DATA FILE

- チーム名 エナジック
- 監督/平山 司、部長/宮里 正男
- コーチ/森長 隆・定岡 康彦
- 創 立 2008年
- 練習日 月曜日～金曜日
- 練習場所 西崎球場、東風平球場など

## チームのモットー

- チームのモットー＝守りに徹したチームづくりを目指す。将来は プロ選手輩出を実現する



We LOVE  
BASEBALL  
PICK UP TEAM & PLAYER  
野球大好き